

部局	都市経営部	補職	部長	氏名	籾床 和弘
----	-------	----	----	----	-------

1. 部局の使命

○基本政策および総合計画の実現に向け、政策推進の司令塔として、社会環境の変化および地域課題を踏まえつつ、市長等のトップマネジメントを補佐し、全庁的な総合調整を通じて新たな価値創造と変革を進める。
○全体最適の観点からデジタル・ガバメント、広報戦略、危機管理、公民学・広域連携を推進し、市民サービスの向上および地域課題の解決につなげる。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>(1) 全庁的な政策調整機能を強化します。(各部局から頼られる存在に)</p> <p>(2) 組織外部の様々なパートナーとの連携を追求します。(多様な力を巻き込んで)</p> <p>(3) 伝わる・魅せる情報発信を追求します。(必要な情報を必要な方に)</p> <p>(4) 市民のみなさんの共感を伴うデジタル・ガバメントの取り組みを進めます。(デジタルの恩恵をまち全体に)</p> <p>(5) 危機管理体制を強化し安全・安心なまちづくりを進めます。(様々なつながりを大切に)</p>	<p>こども政策の充実・強化を重点政策に位置付けた『2024経営戦略方針』をとりまとめ、「子育てしやすさNO.1」関連施策やDXの取り組みをはじめとした全庁的な政策課題について総合調整を行い、政策を推進しました。</p> <p>また、中核市長会やSDGs・公民学連携プラットフォームなどを通じて全国の自治体、企業などと新たな連携・協力体制を構築しました。</p> <p>めざすべき広報を定義づけ、明確化した『広報戦略』を新たに策定し、「共感を得る」広報に向け第一歩を踏み出しました。</p> <p>デジタルサービスは、「とよなかダッシュボード」の運用開始など、保有するデータをわかりやすく市民と共有する取り組みを進めるとともに、LINEをはじめ民間サービスを活用することで、市民に便益をいち早く享受いただくことをモットーに各種デジタルサービスを展開しています。</p> <p>危機管理については、本市初となる「全市一斉防災訓練」を開始するなど、市民・地域と一体となった地域防災力の強化に向けた取り組みを進めました。</p> <p>能登半島地震においては、発災直後から全庁的な支援体制を整え、被災地に職員を派遣し、人命救助や応急給水活動、避難所運営支援、被災者の健康支援、避難所巡回支援、廃棄物の搬送などを実施しました。また本市に避難される方向けの支援窓口を設置し、全庁挙げた支援を進めています。</p> <p>以上、取組方針に従い、各目標項目を遂行した結果、概ね達成している又は順調な進捗を果たしている状況です。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)		実績									
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果									
			課題・今後の方向性									
1	<p>効果的・効率的な政策マネジメントの推進</p> <p>(1) 経営戦略会議、政策会議の効果的・効率的な運営により、トップマネジメント層の迅速かつ円滑な意思決定を支えるとともに、政策課題にかかる全庁的な総合調整を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略会議・政策会議の運営(通年) 暮らしやすさ向上プロジェクトの推進(上半期にプロジェクト公表) 重点化予算フレームに向けた政策調整のしくみづくりと推進(しくみづくりは上半期) <p>(2) 全庁的な総合調整により、基本政策、総合計画、総合戦略、SDGs未来都市計画を着実に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本政策の進捗状況の公表(4月) 政策評価の実施(8月) 令和6年度経営戦略方針の策定(9月) 総合計画実施計画の策定(11月) 審議会における検証(11月) 		<p>(1) こども政策の充実強化を重点政策に位置付け戦略的に政策を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略会議(3回) 政策会議(5回) 『子育てしやすさNo.1』(9月公表) 資源配分の新たなしくみ構築(財務部・総務部と共同。各部局長ヒアリングをベースに事業を重点化) <p>(2) マネジメントサイクルの効果的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本政策の進捗(76%→80%) 2024経営戦略方針(9月策定。投資を重点化) 総合計画審議会(3回、12月意見集約) 政策評価のしくみ見直し(前期計画の課題を踏まえ見直し) 総合戦略委員会(2回、10月答申) 市民意識調査(回答率41%、総合満足度86.5%→86.6%) 		<ul style="list-style-type: none"> こども政策の充実・強化を”核”に地域全体の発展に向けた戦略展開の具体化 アウトプット・アウトカムに重点を置いた政策調整の推進 子育てしやすさNo.1関連施策への100億円投資など未来への投資戦略を着実に遂行するためのしくみづくり 							
	<p>総合計画</p> <table border="1"> <tr> <td>5-2- (1)</td> <td>公正で効果的・効率的な市政運営を進めます</td> <td>5-2- (2)</td> <td>デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます</td> </tr> </table>					5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます			
5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます									
<p>基本政策</p> <table border="1"> <tr> <td>26</td> <td>強靱なまちづくりの推進</td> <td>64</td> <td>とよなかデジタル・ガバメントの推進</td> </tr> <tr> <td>69</td> <td>創る改革を推進するための環境づくり</td> <td>70</td> <td>みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進</td> </tr> </table>					26	強靱なまちづくりの推進	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進	69	創る改革を推進するための環境づくり	70	みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進
26	強靱なまちづくりの推進	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進									
69	創る改革を推進するための環境づくり	70	みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進									

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	多様な主体との連携を強化	<p>(1) 多様な主体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決支援事業(5事業選定、2件実装) ・プラットフォーム(登録107団体、1月にワークショップ含むフォーラム開催) ・政策コンテスト(11月、37人・8グループ参加) ・事務事業の見直し(財源創出額52百万円) ・創る改革実現プロジェクトのグループ提案新規実施(3グループ、17人) ・連携協定の締結(自治体2件、民間2件) ・学校跡地有効活用 <p>旧島田小、旧十中、旧野田小、七中の跡地利用の方向性を明確化(1月パブコメ、2月計画確定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中核市市長会を通じた提言活動(子育て支援施策検討プロジェクト、ガバメントクラウド補助など) <p>(2) 研究を通じて政策を下支え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども総合データの整理と分析(通年、機関紙へ掲載3月) ・こども生活実態基礎調査の実施(9～10月) ・(公財)日本都市センター主催の都市調査研究グランプリ(CR-1グランプリ)で最優秀賞受賞「地域づくりと健康づくりに関する調査研究—社会的処方視点の視点をふまえて—」 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策推進を図る手法として外部とのつながりをさらに強化 ・企業との連携手法の一つとして企業版ふるさと納税制度の積極的活用 ・地域課題に加え行政内部の課題にも外部資源を活用できるしくみを構築 ・データ分析を通じて各部局の施策推進をサポート
	<p>(1) 多様な主体との連携により、地域課題を解決するとともに、未来への投資を実現するための変革を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民学連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> * 地域課題解決支援事業(6月～10月実証、11月評価) * 公民学連携とSDGsのプラットフォームを統合しフォーラム実施(12月) * SDGs政策提案コンテストの開催(6～10月) ・NATSでの連携(通年: 人事交流、8月ボトルのリサイクル運用、12月シンポジウム) ・事務事業の見直しの推進(通年) ・学校跡地の活用【重点】 <ul style="list-style-type: none"> * 島田小跡地の活用事業者の決定(3月) * 庄内さくら学園中・野田小跡地事業化検討(通年、3月決定) * (仮称)南校開設に伴う施設再編方針(3月) (2) 新たな行政課題や中長期的な視点における政策課題に対する調査研究を行うことで、新たな価値創造を支えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども関連データを活用した調査研究(通年) ・福祉施策にかかる分析(大学、福祉部との共同研究) ・各部局のデータ活用支援・政策立案支援(通年) 		
総合計画			
5-2- (3)	多角的な連携に取り組みます		
基本政策			
67	公民学連携の推進	68	広域連携の推進
32	南部地域の活性化	69	創る改革を推進するための環境づくり

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>デジタル・ガバメント戦略の推進【重点】</p> <p>(1) まちづくりの様々な分野にデジタルを活用し、暮らしにおける利便性・快適性を高めます。 ・オープンデータの充実(通年) ・スマホ相談会の充実(通年) ・各部局の取組みの支援(通年) ・学校跡地活用におけるデジタル活用検討(上半期)</p> <p>(2) デジタル活用により市民サービスの利便性・快適性を高めます。 ・マイポータルサイト構築の検討(大阪府との連携、通年) ・デジタル活用による窓口サービスの利便性・快適性の向上(通年、上半期方針策定)</p> <p>(3) デジタルの活用により市役所の仕事を変革し、スマートシティの実現を支えます。 ・システム標準化への対応(通年) ・デジタル基盤の充実(6月以降順次) ・データ利活用基盤の構築検討(10月実施事項中間まとめ、年度内最終確定) ・デジタル人材育成(8月、プラン作成)・民間専門人材の活用(通年)</p>	<p>(1) (2) DXの恩恵を市民・地域に浸透</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ(98件(76増)) ・本市のデータをデータダッシュボードで新規公開(3月、10件) ・スマホ等相談会 国制度活用(93回、357人) 福祉なんでも相談窓口(84回、597人) ITリーダー講習会(51回、454人) 相談会(127回、733人) ・プッシュ型通知のしくみ検討(国マイナポータル活用を基本) ・『窓口・オンライン手続きの質向上基本方針』(11月策定、プッシュ型通知、書かない窓口の導入など方針化) <p>(3) 市役所の仕事の変革推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム標準化(国補助金の大幅増獲得) ・デジタル基盤移行(900台、セキュリティを維持しつつ利便性向上) ・ユニットベースを活用したデータ利活用基盤を構築(82件) ・データアナリストを特定任期付で採用(10月) ・デジタルアドバイザーを委嘱(LINE社) ・RPAを83業務に適用(6増) ・生成AIの活用検討(令和5年試行、令和6年予算化) ・人材育成プランは素案を作成するもブラッシュアップが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての方にデジタルの恩恵を波及させるためデジタルデバインド対策を徹底 ・市民が実感・共感するデジタルサービスを展開 ・システム標準化・デジタル基盤完全移行後における本市システム全体マネジメントの準備・取組み ・実効性のあるデジタル人材育成プランを策定
	<p>総合計画</p> <p>5-2- (2) デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます</p>		
	<p>基本政策</p> <p>60 いつでも、どこからでも手続きできる市役所づくり</p>	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進

No	当年度目標(当初設定)		実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果			
		課題・今後の方向性				
4	<p>広報戦略の推進</p> <p>(1) 市の施策や取組みを市民に迅速かつ的確に発信し、共有できるよう、全庁的な調整、発信媒体の効果的な活用により、広報の効果を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報戦略の策定(上半期) ・ホームページの点検強化・充実(通年) ・HP、SNS等の発信ツールにおけるコンテンツの充実(通年) <p>(2) 市民ニーズを迅速に把握することにより、施策への反映につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEアンケート等を積極的に活用(通年) ・ホームページにチャットボット機能搭載(12月) ・総合コールセンターのFAQをチャットボット化(12月) ・市長ふれあいトーク(6回) 		<p>(1) 広報のバージョンアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『広報戦略』(12月策定) <p>広報の目的等を定義、取組みの方向性を明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報満足度調査(1,733回答、満足度59%) ・市公式Noteを新規運用(1月、6本投稿) <p>共感を得るべく切り口を変えて情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長の動きを発信強化 市HPおよび市公式FBの充実 ・SNSの充実(フォロワー：LINE66,300件、X14,463件、FB1,669件) ・YouTube動画の配信(122本) <p>(2) 能動的なニーズ把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEアンケート機能の活用(2月、159件) ・アウトリーチ広聴(とよなか産業フェアで試行、66件) <p>※いずれもBIツールによりダッシュボード化し全庁共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブコメの紹介動画作成(12本) ・市長ふれあいトーク(全6回実施) ・チャットボットの導入(12月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・”共感”を得る広報を推進 ・記事、デザインなどに外部の視点を積極的に取り入れコンテンツを充実 ・広報戦略課の全庁統括・調整機能を強化 ・EBPM機能を強化(アンケート結果のダッシュボード化、全庁共有のしくみづくり) ・現在住み分けしている広報と都市活力部所管の魅力発信(ブランド戦略)についてより効果的な運用体制を検討・構築 	
	総合計画					
5-1- (1)	市政情報の発信・提供・公開を推進します					
基本政策						
35	スマートシティの推進		61	対話と発信による共感・共創づくり		

No	当年度目標(当初設定)		実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果			
			課題・今後の方向性			
5	<p>危機管理の強化</p> <p>(1) 大規模災害などの危機事態に対して、日ごろから準備や訓練を通して危機対応力を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の即応体制強化(5月) ・避難施設等の環境の整備(避難所避難ビル指定:通年) ・地域・住民と一体となった訓練の実施(1月) ・被災者台帳デジタル化(通年) <p>(2) 市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、地域防災力の強化に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイタイムライン作成支援ツールの構築(9月) ・避難行動要支援者の避難支援 <ul style="list-style-type: none"> *モデル事業の実施(7校区) *デジタル化の検討(年度内方針作成) ・防災市民講座(2月) <p>(3) 地域の防犯力向上にかかる取組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ更新の検討(10月方針作成)【重点】 		<p>(1) (2) デジタル活用を徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象警報発令時等の部全体での体制づくり(時間外の即応体制2件) ・学校体育館の空調導入(令和7年まで) ・避難ビル指定(2件) ・全市一斉防災訓練(1月、約2,400人参加) ・被災者台帳機能を搭載した被災者支援システムを整備(財務部) ・防災DXの検討(被害情報集約、避難所運営情報の管理など。令和6年予算化) ・マイタイムラインの構築(9月) ・デジタルを活用した安否確認モデル実施(1月、少路小校区) ・自主防災組織への補助(16件) ・市民防災講座(2月、546人) ・防災アドバイザーの派遣(29件) ・避難行動要支援者の避難支援(7件モデル実施) <p>(3) 防犯体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの効果検証(4月まとめ) ・上記を踏まえカメラの更新方針まとめ(全体設置量を維持) <p>※面積あたりカメラ設置数(1,266箇所、1km²あたり府内3位)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の避難支援については、台帳管理と連動させ、安否確認、避難支援を一元的にデジタルで管理するしくみを構築 ・福祉部と連携し福祉避難所や緊急避難所を確保 ・防犯カメラは現行設置数を維持する方向で、市民、警察等の意見を聴きながら再整備を推進 	
	総合計画					
	2-4- (1)	防災力の充実強化を図ります	2-4- (2)	犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります		
	5-2- (4)	感染症や大規模災害等に対応できる体制づくりを進めます				
基本政策						
	19	避難誘導の充実	20	避難所の環境整備		
	22	地域防災力の向上				

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	<p>効果的・効率的な政策マネジメントの推進</p> <p>(1) トップマネジメント層の迅速かつ円滑な意思決定を支えるとともに、政策課題にかかる全庁的な総合調整を行います。</p> <p>(2) 全庁的な総合調整により、基本政策、総合計画、総合戦略、SDGs 未来都市計画の着実な推進を図り、それぞれの計画等の実現を図ります。</p>		<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略会議・政策会議の運営(通年) ・暮らしやすさ向上プロジェクトの実施(R6~) ・経営戦略方針(単年度)の策定【毎年度】 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本政策：進捗度想定 77%(R4)→8割(R5~6)→100%(R7) ・政策評価【毎年度】 ・第5次総合計画の検討【R8~】 ・総合戦略【R9まで】 ・地域強靱化計画【R6：次期計画検討・策定】 ・SDGs未来都市計画【R7：時期計画検討・策定】 	
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
	基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進	
69	創る改革を推進するための環境づくり	70	みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進	
2	<p>多様な主体との連携の推進</p> <p>(1) 多様な主体との連携により地域課題を解決するとともに、未来への投資を実現するための変革を進めます。</p> <p>(2) 新たな行政課題や中長期的な視点における政策課題に対する調査研究を行うことで、新たな価値創造を支えます。</p>		<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民学連携の推進(随時) ・事務事業の見直しの推進(R7まで) ・学校跡地の活用 <ul style="list-style-type: none"> * 島田小跡地の活用(R6) * 庄内さくら学園中跡地の活用(R7) * 野田小跡地の活用(R8) * (仮称)南校開設に伴う施設再編の準備(R6~) <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究：随時 ・インターンシップの受け入れ：毎年度1名 	
	総合計画			
	5-2- (3)	多角的な連携に取り組みます		
	基本政策			
67	公民学連携の推進	68	広域連携の推進	
69	創る改革を推進するための環境づくり	70	みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	デジタル・ガバメントの推進 (1) デジタル・ガバメント戦略に基づき、まち・サービス・行政のデジタル活用を推進し、豊中らしいスマートシティの実現に向けた取組みを進めます。		<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ相談会の充実 (通年) ・各部局の取組みの支援 (通年) ・マイポータルサイト構築 (R7) ・デジタル活用による窓口サービスの利便性・快適性の向上 (通年) ・システム標準化への対応 (R7完了) ・データ利活用基盤の構築 (R7) ・デジタル人材育成・民間専門人材の活用 (通年) 	
	総合計画			
	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます		
	基本政策			
	60	いつでも、どこからでも手続きできる市役所づくり	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進
4	広報戦略の推進 (1) 市の施策や取組みを市民に迅速かつ的確に発信し、共有できるよう、広報戦略を進めます。		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル (R6) 	
	総合計画			
	5-1- (1)	市政情報の発信・提供・公開を推進します		
	基本政策			
	35	スマートシティの推進	61	対話と発信による共感・共創づくり

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>危機管理の強化</p> <p>(1) 日ごろから準備や訓練を通して危機事態への対応力を強化するとともに、地域の防災力の向上に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の環境整備 (R8まで物資整備) ・地域・住民と一体となった訓練の実施 (毎年度1回) ・避難行動要支援者の避難支援のデジタル活用 (適時) <p>(2) 地域の防犯力向上にかかる取組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの更新 (R7整備、R8運用) 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の環境整備 (R8まで物資整備) ・地域・住民と一体となった訓練の実施 (毎年度1回) ・避難行動要支援者の避難支援のデジタル活用 (適時) <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの更新 (R7整備、R8運用)
	総合計画	
2-4- (1)	防災力の充実強化を図ります	2-4- (2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります
5-2- (4)	感染症や大規模災害等に対応できる体制づくりを進めます	
基本政策		
19	避難誘導の充実	20 避難所の環境整備
22	地域防災力の向上	